

十文字学園女子大学紀要第50集発行にあたって

十文字学園女子大学学長

志村 二三夫

十文字学園女子大学紀要は、この度、通算第50集の発刊となりました。ごく僅かな例外を除き、毎年の発行、半世紀以上に亘る成果です。

本学の母体である十文字学園女子短期大学の武田一郎初代学長は、「研究紀要」の創刊号で述べています。「私たち教員に課せられた使命は研究と教育とであり、この両者の不断の推進につとめたいと念願しています。この創刊号を契機として2号3号と続刊し、私達自身の足跡をのこしながら、将来への前進の飛び板にしたいと考えます」。武田学長の思い、今様表現ではサステイナブル・ディベロップメントが、この第50集までの足跡のとおりに具現されています。喜ばしくまた誇らしいことです。紀要を育み、持続的発展を支えて下さった全ての皆様の力尽くしの賜物と心から感謝いたします。

ここで少し、第50集に至る本学紀要の変遷を辿ってみます。ルーツとなる「研究紀要」は十文字学園女子短期大学開設の翌年（1967年）に創刊されました。これが、短期大学の変遷に合わせ、「十文字学園女子短期大学研究紀要（1970年）」、さらに「十文字学園女子短期大学部研究紀要（2004年）」へと第45号（2014年）に至るまで持続発展しました。一方、十文字学園女子大学の開設（1996年）以降、社会情報学部の「社会情報論叢（1998年）」、「人間生活学部紀要（2003年）」がそれぞれ創刊されました。そして、2015年には短期大学部の発展的改組を含む一学部体制が構築されたのに合わせ、学部ごとの紀要・論叢が「十文字学園女子大学紀要」へと統合され、また「研究紀要」の歴史と伝統を引き継いで、「十文字学園女子大学紀要」が第46集としてスタートしました。紀要の変遷は本学の発展の歴史の反映であるとともに、「十文字学園女子大学紀要」は本学の教育研究体制一体化・ワンチームとしての本学の象徴でもあります。

この4月、本学は教職員が一丸となり、学校法人と歩調を合わせてつくり上げた新たな三学部体制へのトランスフォームが始動します。大学、とくに私立大学の使命は建学の理念の実現をめざし、教育・研究・社会貢献を実践することにあります。合わせて、社会情勢に合わせて進化することも求められます。一学部体制へと収斂した本学が新たな三学部へと適応放散するのは、持続的進化の証です。

大学開設時の鈴木一雄初代学長は、社会情報論叢の創刊の辞で「大学は学問の府である。私たちの場合も、学部各位の独自の研究の蓄積が学部の教育を支えている。自らの歩みを進める者だけが人を進めることができるのである」と述べています。「十文字学園女子大学紀要」に象徴されるワンチームとしての本学の歩みを支えるには、教職員が自らの歩みを進めることが求められます。紀要は、教育・研究・社会貢献において自らが歩みを進めた成果の大切な公表の場です。欧米の研究の世界では“Publish or perish!”（公表無しなら、消え去れ）といわれています。公表の場としての紀要がさらに活性化され、質が向上し、持続的発展を遂げ、本学の進化を支えてゆくよう祈念いたします。

十文字学園女子短期大学・十文字学園女子大学 紀要変遷

		十文字学園女子短期大学			十文字学園女子大学			
		研究紀要	十文字学園女子短期大学研究紀要	十文字学園女子大学短期大学部研究紀要	十文字学園女子大学紀要	社会情報論叢	人間生活学部紀要	
昭和42	1967	1	1970					
昭和43	1968	2						
昭和44	1969	3						
昭和45	1970	1969						4
昭和46	1971							5
昭和47	1972							6
昭和48	1973							7
昭和49	1974							—
昭和50	1975							—
昭和51	1976							8
昭和52	1977							9
昭和53	1978							10
昭和54	1979							11
昭和55	1980							12
昭和56	1981							13
昭和57	1982							14
昭和58	1983							15
昭和59	1984							16
昭和60	1985							17
昭和61	1986							18
昭和62	1987							19
昭和63	1988							20
平成元	1989							21
平成2	1990							—
平成3	1991							22
平成4	1992							23
平成5	1993							24
平成6	1994							25
平成7	1995							26
平成8	1996							27
平成9	1997							28
平成10	1998							29
平成11	1999							30
平成12	2000							31
平成13	2001		32					
平成14	2002		33					
平成15	2003		34					
平成16	2004		2004					
平成17	2005	2003	35					
平成18	2006		36					
平成19	2007		37					
平成20	2008		38					
平成21	2009		39					
平成22	2010		40					
平成23	2011		41					
平成24	2012		42					
平成25	2013		43					
平成26	2014		44					
平成27	2015		45					
平成28	2016		2014					
平成29	2017		46					
平成30	2018		47					
令和元	2019		48(1)・48(2)					
			49					
			50					